

津軽白神 ふれあい通信

津軽白神森林生態系
保全センター

平成27年1月27日発行 No.104



森林・林業技術交流発表会に参加します



当津軽白神森林生態系保全センターでは、毎年度その年に行ってきた取組や研究の成果について、東北森林管理局が主催する森林・林業技術交流発表会の場で発表しています。今年度は、ニホンジカの生息状況を調査するため、センサーカメラを局管内で45台設置しましたが、その設置状況と撮影された動物の状況、そして今後の課題等について発表します。

日時は平成27年2月5日10時半頃から、東北森林管理局2階大会議室で発表します。発表会は、局管内の各森林管理署職員をはじめ、高校生や他の行政機関の職員の皆さんも参加されますので、関心のある方は是非とも足をお運びください。

発表課題

白神山地世界自然遺産地域周辺における センサーカメラによるニホンジカ監視について

津軽白神森林生態系保全センター 久保翔太郎(発表者) 鈴木 修
藤 里森林生態系保全センター 阿部耕士

日時：平成27年2月5日(木) 10:15開会

場所：東北森林管理局 2階大会議室(秋田市中通五丁目9番16号)

ハクチョウが飛来しています

鱒ヶ沢町内を流れる中村川に、12月中旬からオオハクチョウが飛来しています。

この日は十数羽が水面で羽を休めていました。

幼鳥の姿も見えます。これらのハクチョウは4月はじめ頃に、北へ向かって帰って行きます。



～職員のコラム～

ボランティア活動を始めてから16年になります。

非常勤職員 原田正春

青森県ユネスコ協会主催の白神山地自然体験セミナーで、一般市民を白神に案内するボランティアのインストラクターを、平成11年に高校の恩師から誘われ、引き受けました。

白神岳や大川など年4、5回セミナーを実施する際、先生の補佐役として世界遺産の説明をしてきましたが、平成16年にセミナーが休止となったため、先生と仲間が相談して、平成17年に、先生を会長に、ボランティア団体「津軽人文・自然科学研究会」を立ち上げました。

体験セミナーのほかに、大間越の松くい虫伐採跡地の植樹事業への参加や日本ユネスコ主催の植樹祭や植樹活動では、会として直接事業を引き受けて取り組んできました。

平成21年からは、三菱UFJフィナンシャルグループの支援を受けた日本ユネスコと5カ年間に白神山地周辺の国有林に10万本を植樹する契約を交わして事業に取り組み、無事に完了しました（追加で、更に1万8千本を植樹）。

この間、三菱の社員を全国から招いて、会主催で津軽署や当センターなど多くの団体の協力を得ながら植樹祭を年2回実施してきました。

現在引き続き育樹（下刈）祭を実施しています。これまで同様翌日は、当会員が三菱の皆さんを白神山地に案内をしています。

週3日の保全センター勤務とボランティア活動で有意義な日々を過ごさせてもらっています。

活動展を開催します

当センターでは、下記により平成26年度の活動内容を皆様にお知らせする活動展を開催し、白神山地の自然、動植物のパネル、今年度実施したイベントの様子を展示いたします。

また、ぬりえや木工教室、写真のプレゼントなども予定しております。

記

日時：平成27年2月7日（土）～9日（月）9時～17時

（7日は13時開場、9日は12時終了となります。）

場所：青森市 沖館市民センター 2階 中会議室兼視聴覚室

日時：平成27年3月6日（金）～9日（月）10時～17時30分

（6日は13時開場、9日は12時終了となります。）

場所：つがる市 イオンモールつがる柏 2階 イオンホール

津軽白神森林生態系保全センターホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/tugarusirakami/index.html>